社会医療法人北楡会 札幌北楡病院 広報誌

エルム

vol.70
発行日：令和４年１月４日

編集・発行／社会医療法人 北楡会 札幌北楡病院 広報委員会　責任者／太田　秀一

HOKUYU INFORMATION

新年を迎えて―今年はアフターコロナ？ウイズコロナ？―

皆様、新年あけましておめでとうございます。ご家族共々健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。2020年1月に始まった新型コロナウイルス感染症のコロナ禍により、それまでの社会生活が一変し、あらゆる場面で個人の行動が制限されました。会社や組織でも同様で、三密を避けるために会合、集会、講演、コンサート、スポーツ観戦、飲み会、宴会、カラオケ、旅行等が出来なくなりました。これにより人々との交流が制限され、孤立した人間関係にもとづく心の病が大きな社会問題になっています。

当院でも同様で、検査や手術の制限（現在はやや緩和）、入院患者さんへの面会制限が未だに続いています（ただし、昨年11月から院内に無料Wi-Fiを設定しましたので、スマホや各種タブレットにてリモート面会も可能になっています）。これに対して、当院では院内での自前のPCR検査体制を確立し、発熱したかかりつけの外来患者さんや、外来での検査・手術予定の患者さん、入院の患者さん全てに迅速な PCR検査を行ってきました。その結果、多い月では1 ヶ月に最大で650件もの検体を検査し、今の所院内感染やクラスターは発生していません。また職員のみならず、周辺住民の方々へのワクチン接種を行い、これまでに1万回を超える接種を行ってきました。

幸いにも昨年10月に第5波が収束し、非常事態宣言も解除されて、少しずつ以前の生活に戻る動きが出てきました。これには、ワクチン接種の普及、個々人の感染対策の徹底、ウイルス側の変化など、色々な要因が挙げられていますが、決定的な要素は解明されていません。しかし一方では、ワクチン接種が進んでいたはずの欧米で再び顕著な感染拡大が進んでおり、国によっては再びロックダウンを始めたところもあります。我が国では水際対策の緩和が行われており、国外からの新たなウイルスの持ち込みが懸念されます。コロナ前の状況実現はまだ先のことと思われます。

今や国を挙げての第6波対策が実施されていますので、もう少しウイズコロナの生活を続ける必要があると考えています。近い将来に必ずや来るであろう「新しいポストコロナの生活」を作り上げるためにも、今少し頑張りたいと思います。引き続き、現在の感染対策を継続するつもりですので、何かとご不便をおかけしますが、相互の安全・安心のために皆様のご協力とご支援をお願い申し上げます。

院長　目黒　順一

◆特集 1
移植医療支援室のご紹介

◆特集 2
新任医師のご紹介
・小児思春期科　佐野医師
・消化器内科　石田医師

札幌北楡病院　基本方針

1. 患者さんに公正な医療を提供します。
2. 患者さんの権利を尊重し、分かりやすい医療を行います。
3. 患者さんの安全を保障し、快適で安心して治療に専念できる場を提供します。
4. 高度医療を積極的に推し進めます。

特集

病院紹介シリーズ

移植医療支援室のご紹介

2021年4月に、移植医療に特化した『移植医療支援室』が開設されましたので、今回のエルムで詳しくご紹介させていただきます。

当院では、腎臓移植と造血幹細胞移植の二つの移植医療を実施しております。
当院での移植の歴史は長く、腎臓移植、造血細胞移植共に1986年から行っております。そして移植コーディネーターは昨年の３月まで医療連携室に配属されておりました。

患者さんに移植医療が必要になった時、移植に関わる相談、調整等を行うのが移植コーディネーターです。
当院では腎臓移植において『レシピエント移植コーディネーター』が、骨髄などの造血幹細胞採取や造血幹細胞移植において『造血細胞移植コーディネーター』が相談対応させていただいております。
移植医療支援室のメンバーはこの移植コーディネーター計6名で構成されております。

《レシピエント移植コーディネーター(RTC)について》

移植医療支援室には、レシピエント移植コーディネーターが現在３名配置されております。
昨年４月に開設した『腎臓病総合医療センター』とも密接に関わって、チーム医療を実践しております。
当院では、移植を受けられる患者さんやご家族、ドナーの方へ安心して移植医療が行われるように、日本移植学会認定のレシピエント移植コーディネーター(RTC：Recipient Transplant Coordinator)が1名勤務しております。

＜ＲＴＣの役割は？＞

- 患者さん、ご家族への移植の意思決定への支援を含む心理的・社会的問題の評価と解決への援助を行う。
- 移植全過程における移植チーム内の円滑な連絡・調整を行う。
- 患者さん、ご家族に対する移植前・移植後における継続した指導・教育を行う。
- 患者さん、生体ドナーの方への長期継続した医学的フォローアップを行う。

大きく上記の４つの役割を担っております。

＜腎移植とは？＞

◎生体腎移植

親子、きょうだいなど血縁関係にある方や、夫婦など非血縁関係の提供者から左右どちらかの腎臓の提供を受ける移植治療です。
日本移植学会における倫理指針では、血縁者間移植のドナー範囲は、原則成人で、6親等以内の血

族または3親等以内の姻族(配偶者の親族)に限られています。また、生体腎移植のドナーの場合、心身ともに健康であり自らの自由意思での提供である必要があります。

◎献腎移植

亡くなられた方から腎臓を提供していただく移植治療です。
献腎移植のうち脳死腎移植は、心臓が停止する前の脳死の提供者から摘出された腎臓を移植する方法です。一方、心臓死移植は、心臓が停止した直後に摘出した腎臓を移植する方法です。
現在、わが国で行なわれている献腎移植のほとんどは脳死腎移植です。

腎臓移植件数　実績　　**総件数　229件**　　※2021/11月現在

腎臓植年	1986年	1987年	1988年	1990年	1991年	1992年	1994年	1995年	1997年	1998年	1999年	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年
腎移植件数(献腎移植)	2	2	2 (1)	1	1	3	2	3 (1)	3	6 (1)	2	4	3	5	3	8 (1)	2
腎臓植年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	
腎移植件数(献腎移植)	8 (2)	1 (1)	3 (1)	10	20 (2)	9	11	14	21 (1)	12 (1)	10 (2)	16 (1)	12	12	5	14 (1)	

＜腎移植を希望される場合は？＞

◎生体腎移植を希望される場合

強制ではない自由意思による腎臓の提供者がいて、移植を希望されるならば腎移植が可能となる場合があります。
現在は、透析を導入する前に生体腎移植を行う件数も増加しています。
まずは、当院のRTCに相談してください。

◎献腎移植を希望される場合

日本臓器移植ネットワークに登録する必要があります。
登録条件を満たした場合は、所定の登録用紙に記入していただき、血液型や組織適合検査を受けます。登録料を支払い、日本臓器移植ネットワークにデータが登録されて手続きが完了します。
その後、毎年登録のための検査や更新料の支払いなどが必要となります。
詳しくは、日本臓器移植ネットワークのホームページ(https://www.jotnw.or.jp)もご覧ください。
献腎登録に関するご相談や、登録をご希望の方は当院のRTCにご連絡ください。

＜腎移植の条件は？＞

腎移植を受けることのできる条件は下記の通りです。

- 末期腎不全患者であること。
- 移植を受ける時に肺炎や肝炎などの感染症にかかっていないこと。
- 癌などの悪性腫瘍がないこと。ただし、早期がんや治療して数年経過していれば可能な場合もあります。
- 肝硬変などの重い病気がないこと。
- 心臓や肺機能が手術に耐えられること。
- 重要なお薬の自己管理ができること。

＜臓器提供に関する意思表示カードはご存知ですか？＞

臓器提供の意思表示は、健康保険証・運転免許証・マイナンバーカード・意思表示カード・インターネットによる意思登録で意思表示をすることができます。

＜お問い合わせ＞

現在、移植医療支援室内に面談室はございませんので、腎臓移植に関するご相談をご希望の場合は移植医療支援室所属のRTCに下記の受付時間内にお電話でお問い合わせください。ただし、ほかの患者さんの対応中等ですぐにお電話に出られない場合もありますので、その際は連絡先をお伝えしてください。折り返しお電話させていただきます。

レシピエント移植コーディネーター（RTC）

福本、小松、首藤まで

TEL：011-865-0111（代表）【受付時間：平日 9：00 ～ 17：00】
FAX：011-330−8985（直通）

《造血細胞移植コーディネーター（HCTC）について》

移植医療支援室には、造血細胞移植コーディネーターが現在３名配置されております。
当院では、移植を受けられる患者さんやご家族、ドナーの方へ安心して移植医療が行われるように、日本造血細胞・免疫細胞療法学会認定の造血細胞移植コーディネーター（HCTC: Hematopoietic Cell Transplant Coordinator）が2名勤務しております。

＜ＨＣＴＣの役割は？＞

- 移植を受けられる患者さんとご家族の方へ、移植の流れ、ドナーの調整について、経済的不安、退院後の社会復帰についてなど移植に関わる説明、相談を行います。
- 患者さんのご家族で、ドナーとなられる方への説明や相談対応、スケジュール調整などを行います。
- 骨髄バンクのドナーの方へは、骨髄バンクのコーディネーターと連携して支援を行います。
- 移植全般のコーディネート状況について適宜多職種と情報共有を行い、チーム医療を実践します。

＜造血幹細胞移植の流れは？＞

1. はじめに、患者さんの病状から自家造血幹細胞移植が適応なのか、ドナーからの提供を受ける同種造血幹細胞移植が適応なのか検討され、主治医から説明があります。
2. 同種造血幹細胞移植が適応となった場合、本人のHLA（白血球の血液型）を調べます。ドナーは、まず血縁者（きょうだいや両親など）でHLAが合う人がいるかどうか調べます。造血細胞移植コーディネーターから説明があります。
3. 血縁者にドナーがいない場合、骨髄バンクや臍帯血バンクに登録します。申請書類等は病院で用意し、主治医と造血細胞移植コーディネーターが登録手続きをします。血縁者間移植の場合はドナーとなられる方の対応可能時期と患者さんの移植予定時期を踏まえて日程調整してい

きます。骨髄バンクの場合、移植までに数ヶ月から半年、臍帯血バンクの場合は数日から1ヶ月以内のコーディネートで移植が可能となりますが、移植時期は患者さんの病状等により決めていきます。

4. ドナーは採取しても大丈夫かどうか健康診断や意思確認をおこないます。
5. 移植日の1週間から10日くらい前から、移植に向け強力な化学療法(前処置)がはじまります。
6. 造血幹細胞を含んだ骨髄液や末梢血幹細胞を患者さんに輸注(移植)します。
7. 無菌室で様子をみます。生着までには2、3週間から4週間ほどかかります。
8. 生着後は準無菌室や個室で様子をみます。順調に経過すれば、移植後3ヶ月くらいで退院となりますが、退院までの期間は移植後の状況によって個人差があります。
9. 退院後は定期検査を受け社会復帰まで様子をみます。

＜当院の移植実績＞

造血幹細胞移植の治療実績

年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年
自家末梢血幹細胞移植	15	14	14	19	11	23	16	14	14	24	27	26	28
血縁骨髄移植	1	0	2	7	8	5	7	2	5	3	4	1	2
血縁末梢血幹細胞移植	7	9	9	2	4	2	5	14	10	11	20	6	9
非血縁骨髄移植	12	7	17	13	15	10	14	9	10	9	7	10	14
非血縁末梢血幹細胞移植	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	2	0	0
臍帯血移植	7	10	6	10	22	13	11	8	13	17	17	28	23
合計件数	42	40	48	51	60	53	54	47	52	64	77	71	76

＜骨髄バンクのドナー登録方法『チャンス』をご存知ですか？＞

ドナー登録の際には、骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容をよくご理解いただく必要があります。パンフレット『チャンス』に詳しい解説が掲載されていますのでご覧ください。

1. 登録窓口・ドナー登録会にて説明を受け、申し込み手続きをする
   (北海道赤十字血液センターや札幌市内の献血ルームなどが窓口になります。
   詳しくはパンフレットや骨髄バンクのホームページをご参照ください
   (https://www.jmdp.or.jp))
2. 引き続き、HLA型検査を受ける(2mlの採血を行います)
3. ドナー登録確認書を送付されます
4. その後、患者さんとのHLA型適合検索を定期的に行います

※院内にも『チャンス』のパンフレットを設置しておりますので、
関心のある方は手にとってみてください。

骨髄バンクへの登録にご協力ください
～あなたの善意で助かる命があります～

＜『献血』をご存知ですか？＞

献血とは、病気の治療や手術などで輸血を必要としている患者さんの尊い命を救うために、健康な人が自らの血液を無償で提供するボランティアです。
当院ではたくさんの患者さんが、献血していただいた方の赤血球や血小板の輸血を必要としています。

日本赤十字社では、16 ～ 69歳まで※の健康な方に献血のご協力をお願いしています。
献血は、毎日稼働している献血バスと常設の施設で受け付けています。
※65歳以上の方の献血については、献血いただく方の健康を考慮し60 ～ 64歳の間に献血経験がある方に限ります。
詳しい献血の流れや献血ルームにつきましては、北海道赤十字血液センターのホームページをご参照ください
(https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/index.html)。

＜献血Web会員サービス『ラブラッド』をご存知ですか？＞

日本赤十字社では、平成18年に「複数回献血クラブ」を設立し、継続的に献血にご協力いただける方を募集してきました。平成30年10月には、利用者の方へのサービス向上を目的として、献血Web会員サービス『ラブラッド』へとリニューアルを行いました。

『ラブラッド』の会員になると･･･

◆全国の献血会場(一部を除く)のWeb予約が可能になります
◆ポイントを貯めて記念品と交換できます
◆血液の検査結果等を含む献血記録が献血後数日でWebにて確認できます
　※会員になられた方は検査結果通知はがきの発送を停止します。従来どおり発送をご希望する場合は受付スタッフまでお知らせください。
◆過去の献血記録が確認できます(平成17年4月以降)
◆会員限定オリジナルデザインの献血カードに交換できます
◆メールやLINEで会員限定のお知らせやご案内、献血の依頼等が届きます
　(次回献血可能日、イベント、キャンペーン情報、「献血のお願い」など)
◆住所変更のお手続きがWeb上で可能になります
　詳しくは北海道赤十字血液センターのホームページをご参照ください
　(https://www.bs.jrc.or.jp/hkd/hokkaido/index.html)。

＜お問い合わせ＞

現在、移植医療支援室内に面談室はございませんので、造血幹細胞移植に関するご相談をご希望の場合は移植医療支援室所属の HCTCに下記の受付時間内にお電話でお問い合わせください。ただし、ほかの患者さんの対応中等ですぐにお電話に出られない場合もありますので、その際は連絡先をお伝えしてください。折り返しお電話させていただきます。

造血細胞移植コーディネーター (HCTC)

山﨑、実藤、岩松まで

TEL：011-865-0111(代表)【受付時間：平日 9：00 ～ 17：00】
FAX：011-330-8985(直通)

最後に

私達移植コーディネーターは、入職後1年目の新人から勤続20年以上のベテランまで、そして看護師や社会福祉士、管理栄養士など様々な資格を持った個性豊かなメンバーで構成されております。
移植医療が必要と診断された時から、患者さん、ご家族の方々の不安な気持ちに配慮した対応を心がけ、移植チームと協働で支援させていただきます。
移植の相談や費用のことなど、移植に関することは移植コーディネーターまでお気軽にお問い合わせください。

新任医師のご紹介

昨年10月より、小児思春期科と消化器内科に２名の医師が赴任いたしました。
どうぞよろしくお願いいたします。

小児思春期科　佐野　弘純

令和３年10月より、小児思春期科に赴任しました佐野弘純と申します。当院には、平成22年から平成31年にも勤務しており、2年半ぶりの勤務となります。小児思春期科では、一般小児科の診療を行っているほか、血液・腫瘍性疾患をもつ小児・思春期若年成人の治療に注力しております。病棟には専門性の高い治療を必要とされる患者さんが、札幌市近郊はもとより道内各地から入院されており、毎日身の引き締まる思いで働いております。病棟で日々つらい治療を受けながらも、前向きに頑張っている子供たちを見て、逆に私の方が元気をもらう毎日です。

当院では、「医療者が学問的研鑽を積むことが、ひいては患者さんのためになる」と云う哲学が受け継がれておりますが、私も日頃から自己研鑽に励み、自分の持つ能力を最大限に発揮して、病に苦しむ子どもたちが笑顔になれるよう精一杯頑張っていく所存です。

今後ともよろしくお願い申し上げます。

消化器内科　石田　浩一

2021年10月より札幌北楡病院に赴任いたしました石田浩一と申します。当院での勤務は４年ぶりとなります。北海道大学病院、NTT東日本札幌病院、市立稚内病院、北海道大学病院を経て再び当院に戻り診療に従事できることを大変嬉しく思います。生まれは北海道登別市で、５歳より函館市で育ち、北海道大学卒です。趣味はソフトウェア開発や料理、家庭菜園ですが、最近は社会情勢から観光や食事に出かけることも少なくなり自宅にいることが増えました。現在の住居は庭がないため広く畑を耕すわけにはいかず室内用の観葉植物にも手を出してしまいました。近所のホームセンターに行く度に新たな鉢が増える今日この頃です。さて、当院では様々な急性・慢性の消化器疾患に対して専門的医療をご提供しております。また、他科通院・入院中の患者様にも上下部消化管内視鏡検査・腹部超音波検査など早期発見・早期治療のためのスクリーニング検査も行っております。日々患者様の求める医療に少しでも近づけるよう精進して参りますので何卒よろしくお願い申し上げます。

外来診察担当一覧

午前　午後

（令和３年10月１日現在）

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
内科 血液内科	太田 小笠原(正) 小笠原(励) 小島	小林 今村 日高	小林 今村 江端 宮島	岡田 杉村 宮島 【SO外来】 小林 (15:00～16:00) (完全予約制)	小林 小笠原(正) 岡田 吉田	太田 今村 吉田	太田 小林 小笠原(励) 荒	江端 藤井 荒	小林 小笠原(正) 岡田 日高	今村 小笠原(励) 長井	交替医師
消化器内科	片桐 田中	重沢	重沢 梅村	高野	保浦 片桐	古川 【肝専門外来】 須田 (13:30～14:30)	高野 重沢	片桐	片桐 高野	石田	交替医師
糖尿病代謝内科					※1澤村		※1澤村		澤村		
循環器内科					交替医師		交替医師				
外科	米川 (隔週) 後藤	目黒	服部 (隔週) 杉山	佐藤/杉山 (隔週交代) 久木田	目黒 服部	堀江 【フットケア外来】 (13:30～16:00) (完全予約制)	堀江 高橋	高橋	久木田 佐藤	堀江 佐藤 (隔週)	交替医師
血管外科	熱田(隔週)										
肛門外科	小野寺		宮下	山内	宮下	山内	小野寺		宮下	山内	交替医師
腎臓移植外科 泌尿器科	三浦(9:30～) (予約診療) 東山(午前のみ予約診療)				東山 (予約診療)		三浦(9:30～) (予約診療)	東山	東山 (予約診療)		
腎臓内科	吉原				吉原		吉原				
整形外科	東 高橋		東 大野		高橋		東 大野		高橋 大野 (11:00まで)		
小児 思春期科	小林(邦) 小林(良)	小林(邦) 堀	小林(邦) 佐野	堀 【アレルギー外来】 小林(邦)	小林(邦) 柳	大島 佐野	【血液外来】 小林(良) (完全予約制)		松島 小林(良)	柳 【血液外来】 ※2小林(良) (完全予約制)	交替医師
スリープ外来			高橋								
緩和・ペインクリニック (完全予約制)					沼澤						
禁煙外来 (完全予約制)		三浦									
歯科 (完全予約制)	加藤		加藤／大畑		加藤		加藤／北大医師		加藤／馬場		加藤

※１　糖尿病代謝内科：第3水曜日・第3木曜日は休診となります。ご注意ください。
※２　金曜日午後の小児思春期科小林良二医師は「長期フォローアップ外来」「セカンドオピニオン外来」も併せて担当しております。
◇　都合により代診・休診となる場合がございますので事前にご確認をお願いします。

外来予約電話受付
【平日のみ】午前９時00分～ 12時00分／午後13時30分～ 16時00分
予約専用電話　TEL 011-865-0201

歯科予約
【月・火・木・金】午前９時00分～ 11時30分／午後13時30分～ 16時30分
【水・土】　午前９時00分～ 11時30分
TEL 011-865-8800(歯科直通)

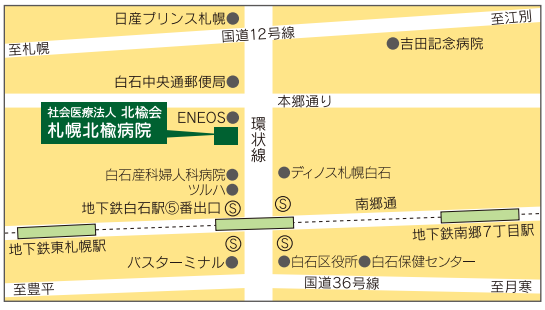
編集後記

新年明けましておめでとうございます。院長の挨拶にもあるように、昨年もウイズコロナの生活でしたね。感染者数は減少したとはいえ、私たちは日々緊張感をもって生活しています。毎日頑張っている自分を褒めつつ、今年も頑張りましょう！　（S・T）

社会医療法人 北楡会 **札幌北楡病院**

診療科目
外科・消化器外科・血管外科・肛門外科・腎臓移植外科・泌尿器科・内科・血液内科・消化器内科・腎臓内科・糖尿病代謝内科・循環器内科・小児思春期科・整形外科・麻酔科・放射線科・歯科

住　所　札幌市白石区東札幌６条６丁目５番１号
TEL：(011) 865−0111　FAX：(011) 865−9634

交　通　地下鉄白石駅５番出口から環状通り　北の方へ徒歩５分左手

ホームページ　https://www.hokuyu-aoth.org/